

基金運用におけるSDGsへの取組(投資表明)

墨田区では持続可能な開発目標(以下「SDGs」という。)の達成に向けて、SDGsに関する施策を総合的かつ効果的に推進しています。

その一環として、基金運用においては安全性や運用効率を確保しながら、SDGs債(ESG債)を購入しています。

投資した資金がSDGsの推進に活用されることを通じて、社会貢献に取り組むとともに、運用から得られた利息については、区が掲げる基本構想・基本計画の目標達成に向けて、有効に活用していきます。

※債券とは: 中長期にわたって、市場から資金を調達するために発行される有価証券のことで、国債、地方債、政府保証債、財投機関債、社債などの種類があります。毎年受け取れる利息(利率)や、満期時の償還金額があらかじめ定められているものが多いことから、安全に、安定した投資を行うことができます。

※財投機関債とは: 日本の政府関係機関(独立行政法人や国の特殊法人など)が市場から直接資金を調達するために発行する公募債券のことです。政府保証債とは異なり政府による直接的な保証はありませんが、一般的に国債等よりも高めの金利が設定されているのが特徴です。

※SDGs債(ESG債)とは: グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドなどの総称です。グリーンボンドは環境や気候変動などの課題、ソーシャルボンドは社会的課題、サステナビリティボンドはその両方の課題解決などに資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券です。

※基金とは: 条例の定めるところにより、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられているものです。